

伊藤 朋子

inQs株式会社 代表取締役社長



シンプルな技術で技術立国日本へ貢献

火力発電所などで生まれた第1次エネルギーの利用効率は僅か37%。利用されない排熱や送電ロスが63%もあるということを知り、単純に、光によってその場で生み出した電気エネルギーをその場で活用できるようにしたい、そのような新しいエネルギーの提供形態を生み出したいという一念で事業を始めました。技術立国日本に敬意を払い、常にシンプルで単純な構造ながらも、社会に貢献できる技術を提供することに挑戦します。

プロフィール

伊藤 朋子 Tomoko Ito
inQs株式会社 代表取締役社長
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館

1975年生まれ
慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業
商社退職後、2005年シーズ技術の事業化に注力する企業を設立。その際、本起業となった光発電素子の原型技術の開発に成功し、2011年IFTL-Solar株式会社(現inQs株式会社)を発起人として設立。その後、取締役を得て、現在の代表取締役に就任。

大学では電気工学全般を勉強しましたが、卒業後は、社会の諸先生方、諸先輩方に様々な分野の技術のみならず、PJ管理、会社経営、社会貢献から人として成長すべきことについて広くご教授をいただき、叱咤激励をいただいております。

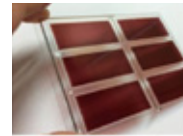
【座右の銘】

私の行いは
大河の一滴にすぎない
でも何もしなければ
その一滴も生まれません

日本がエネルギーの産出国になる。国境のない電力を供給する。

会社の強み

当社は、世界で初めて高純度SiO₂を原料とした光発電素子を開発しました。光発電素子は、光から電気エネルギーを生み出すものです。原子力発電のような大きなエネルギーを一度に産出するようなものではありませんが、光によってその場で発電し、使用することができます。当社の技術力により、極めてシンプルな構造で発電するシステムによって、日本のみならず世界に向けて、光から得られる電気エネルギーを提供することが可能です。



『SQ-DSSC』



『SQPV』

世界初の新しい光発電素子
『SQ-DSSC』『SQPV』

▲新しい光発電素子

光から得られた小さなエネルギーが、大きな社会を動かすエネルギーに

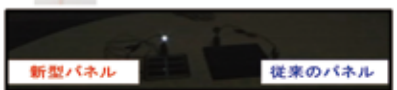
事業・サービスの強み

当社の光電子素子は、1つは室内の光でも高い発電力をもち、IoT向けの自立電源に使用でき、また1つは遮熱と発電の特性をもつ無色透明な光発電素子として、ネットゼロエネルギービルを目指した窓型発電に使用することができます。僅か5luxの光でも、エネルギーを生み出すことが出来るシンプルな構造で発電する仕組みにより、弱電ながらもエネルギーを供給できるため、国境、環境条件を超えたエネルギー産出が可能です。

SQ-DSSC



極低照度環境下でも発電



新型パネル 従来のパネル
僅か5luxでも発電。暗い部屋でも LEDライトを点灯できます

SQPV



無色透明な光発電素子

【用途例】
発電・遮熱する窓ガラス



【用途例】
グリーンハウス

SQ-DSSL およびSQPV▶

受賞ポイント

世界初の高純度SiO₂を使った無色透明型の光発電素子を開発。わずか5luxの光でも発電できるため、省エネルギー社会への貢献等、世界市場を狙える新素材である点が高く評価。国境や環境条件を越えて、世界に向けたエネルギー供給を目指している。